

平成19年第1回公立大学法人熊本県立大学理事会
議 事 録

日 時：平成19年5月30日（水）午後2時30分～午後4時

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：理事長 蓑茂寿太郎
副理事長（学長） 米澤和彦
理事（副学長） 古賀 実
理事（事務局長） 角田岩男
理事 横田 剛
監事 千歳睦男

欠 席：なし

オブザーバー：三木文学部長、大和田環境共生学部長、松野総合管理学部長、半藤文学研究科長

事務局：豊田事務局次長、手島総務課長、稲葉企画調整室長、井上教務入試課長、鉄戸学生支援課長、田中学術情報メディアセンター事務長、元島主幹、林参事

1 開会（進行：豊田事務局次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：蓑茂理事長）

（1）審議事項

事務局から、資料1に基づき、審議事項に係るスケジュールについて、説明があった。

① 文学研究科博士課程設置について

米澤副理事長（学長）から、資料2に基づき、文学研究科博士課程設置について、名称は文学研究科日本語日本文学専攻博士後期課程、学位は博士（文学）、開設は平成20年4月、修業年限は3年、入学定員は2名、収容定員は6名、文学研究科日本語日本文学専攻修士課程を基礎に日本語学、日本語教育学、日本文学の更なる高度な研究を実現するための教育・指導体制をとること、修了要件は16単位と博士論文及び口頭試問、昼夜開講の実施等の説明があった。

審議の結果、文学研究科博士課程設置について、案のとおり議決した。

② 平成20年度カリキュラム改正について

米澤副理事長（学長）から、資料3に基づき、平成20年度カリキュラム改正について、教養科目及び専門科目とも年度計画に従い体系的なカリキュラムの編成、科目の精選、非常勤講師科目の10%削減を目標とした改正であること、全学年をとおしてポートフォリオを活用したキャリアデザイン教育システムを導入すること等の説明があった。

審議の結果、平成20年度カリキュラム改正について、案のとおり議決した。

③ 環境共生学部学科再編について

米澤副理事長（学長）から、資料4に基づき、環境共生学部学科再編について、従来の1学科3専攻から3学科に再編、学科名は環境資源学科、居住環境学科、

食健康科学科、平成20年4月実施等の説明があった。

審議の結果、環境共生学部学科再編について、案のとおり議決した。

④ 文学部、環境共生学部定員増について

米澤副理事長（学長）から、資料4に基づき、文学部、環境共生学部定員増について、文学部が日本語日本文学科、英語英米文学科の両学科の入学定員5名ずつの増で入学定員10名増及び収容定員40名増、環境共生学部が環境資源学科（現生態・環境資源学専攻）の入学定員10名増及び収容定員40名増、両学部とも平成20年4月実施等の説明があった。

審議の結果、文学部、環境共生学部定員増について、案のとおり議決した。

なお、蓑茂議長から、今回の審議事項に係る文部科学省からの指導に対する対応について、蓑茂理事長及び米澤副理事長（学長）に一任させていただきたい旨の提案があり、了承された。

(2) 報告事項

① もっこすプラン2007の策定・届出について

事務局から、資料5に基づき、平成19年3月30日付けで平成19年度年度計画"もっこすプラン2007"を熊本県知事に対し届出を行ったこと、また、4月17日に理事長及び学長による全教職員に対する説明会を開催したことについて報告があった。

② 定例記者会見について

事務局から、資料5に基づき、平成19年4月13日に理事長・学長の定例記者会見を実施したことについて、報告があった。

③ 創立60周年記念シンポジウム「春・進歩・・・大学と学問」について

事務局から、資料6に基づき、平成19年4月28日に「Front Runners in PUK」というテーマでシンポジウムを実施したことについて、報告があった。

(3) その他

「情報流出事故関係」、「審議における説明」、「特別講義」について、理事から発言があった。

次回平成19年度第2回理事会を6月27日（水）午前10時から開催することを確認した。

4 閉会

以上